

「家がいいね」 第119号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2014. 4. 7

いきいき 生きる

いきいき生きる いきいき生きる
ひとり立って まっすぐ生きる
困ったときは 目をあげて
星を眺めてに まっすぐ生きる
息あるうちは いきいき生きる

はつきり話す はつきり話す
びくびくせずに はつきり話す
困ったときは あわてずに
人間について よく考える
考えたなら はつきり話す



しっかりとつかむしっかりとつかむ
まことの知恵をしっかりとつかむ
困ったときは 手を出して
ともだちの手をしっかりとつかむ
手と手をつないでしっかりと生きる

釜石小学校校歌 【作詞】井上ひさし 【作曲】宇野誠一郎

自分の頭で考え行動する生徒になってほしいと、井上ひさしさんたちから贈られた校歌です。防災の教授が教えた避難の基本と共に、生徒の命を救う力の源になったと思います。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに」を追求した井上さんだからこそ、大切な要素を校歌に込めたのでしょう。戦前と戦後で、はたして大人は自らを変えてきたでしょうか。長いモノに巻かれ強いモノに異議を言わない大人は、やがて来る社会の大波に慌てずに自他を守れるのでしょうか。

お寺で終活！ セミナー

4月13日（日）の午後、桑名市の善西寺にてエンディングセミナー講師を務めます。「在宅医からみた看取りの現場とエンディングノートの役割」として、普段から「息あるうちは、いきいき生きる」の対話を大事にすることを話したいと思います。「自宅でイキ抜くこと」で、伝えること、伝えること」が副題です。

いせ在宅医療クリニックの応援ソング？

在宅患者さんの記録を読み返していましたが、何を覚えているのかが分かりました。名前・病名・住所でも「あれ？」とアヤフヤなのに、地図で見ると「ああ！この街角この家、この方々」と明瞭に記憶が甦るのです。笑っちゃおう、ですね。

波を ちやぶちやぶ
ちやぶちやぶ かきわけて
(ちやぶ ちやぶ ちやぶ)
雲を すいすい
すいすい 追い抜いて
(すい すい すい)



ひょうたん島は どこへ行く
ぼくらを乗せて どこへ行く
ウー ウー

丸い地球の 水平線に
何かがきつと 待っている
苦しいことも あるだろさ
悲しいことも あるだろさ
だけど ぼくらは くじけない
泣くのはいやだ 笑っちゃおう
進め



ひよっこりひょうたん島
ひよっこりひょうたん島
ひよっこりひょうたん島

1964年放映 連続ドラマ
この主題歌も
【作詞】井上ひさし
山元譲久
【作曲】宇野誠一郎

大型連休期間のお願い

4月28日（月）開院
29日（火）祝日休診
30日（水）開院
5月 1日（木）定期休診
2日（金）開院
3日（土）6日（火）祝日休診
（在宅患者さんには、24時間対応します）



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105

メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
ホームページ <http://isezaitaku.com>